

# 地 理 B

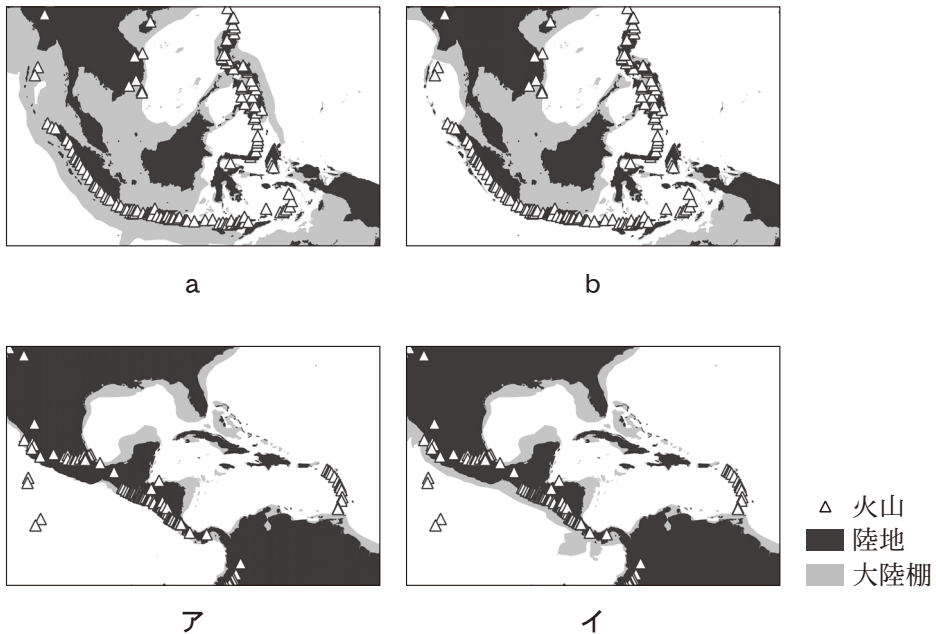
(解答番号 1 ~ 31)

**第1問** 世界の自然環境や自然災害に関する次の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 20)

問1 大陸棚\*は大陸プレートの縁辺部に広がる。次の図1中のaとbのいずれかは東南アジア周辺、また、アとイのいずれかは中央アメリカ周辺の大陸棚の分布を正しく示したものである。東南アジア周辺と中央アメリカ周辺の大陸棚を正しく示した記号の組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 1

\*水深 200 m より浅い海域を大陸棚とする。



火山はすべて正しい位置にある。NOAA の資料などにより作成。

図 1

- ① aとア      ② aとイ      ③ bとア      ④ bとイ

問 2 土砂供給や海面変動などの影響を受けて、河口には特徴的な地形がつけられることがある。次の図 2 中の A と B は、ヨーロッパの二つの河川の主な河道を示したものであり、後の表 1 中のカとキは、河川 A と B のいずれかにおける年平均流量と河道の標高の割合\*を示したものである。また、後の文 x と y は、図 2 中の河川 A と B のいずれかにおける河口にみられる地形の特徴について述べたものである。河川 B に該当する記号と文との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 2

\*それぞれの河川の主な河道の長さを 100 % とした場合の値。



Natural Earth などにより作成。

図 2

表 1

	年平均流量 (m <sup>3</sup> /秒)	河道の標高の割合 (%)			
		100 m 未満	100～500 m	500～1,000 m	1,000 m 以上
カ	1,539	70.5	26.3	1.7	1.5
キ	467	79.8	20.2	0.0	0.0

NOAA の資料などにより作成。

- x 過去に形成された谷に海水が侵入してできたラッパ状の地形
- y 河川によって運搬された砂や泥などが堆積してできた低平な地形

	①	②	③	④
記号	カ	カ	キ	キ
文	x	y	x	y

## 地理 B

問 3 地形や気候の影響を受けて，世界の大河川の流域には様々な植生がみられる。次の図 3 中の E～H は，チベット高原に源流をもついくつかの河川の流域と主な河道を示したものである。また，後の表 2 は，図 3 中の E～H のいずれかにおける，流域面積全体に占めるいくつかの植生などの面積割合を示したものである。G に該当するものを，表 2 中の①～④のうちから一つ選べ。

3

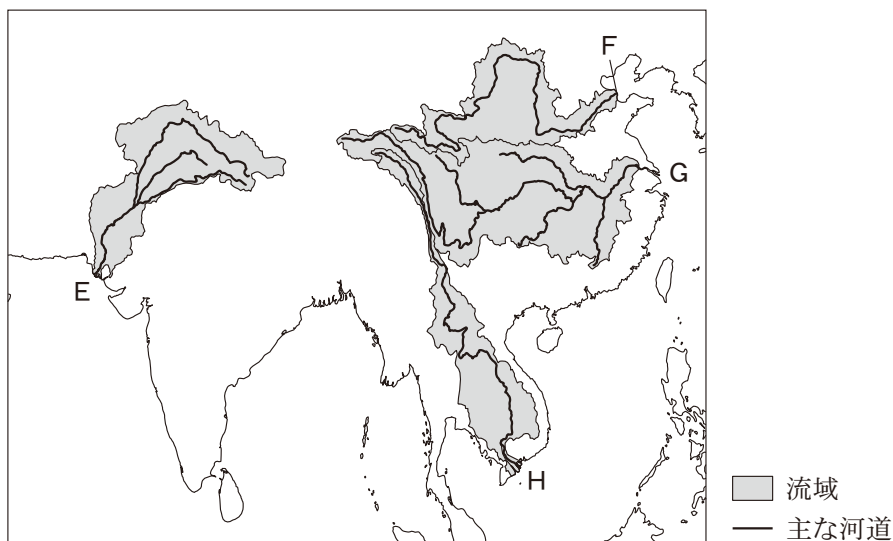


図 3

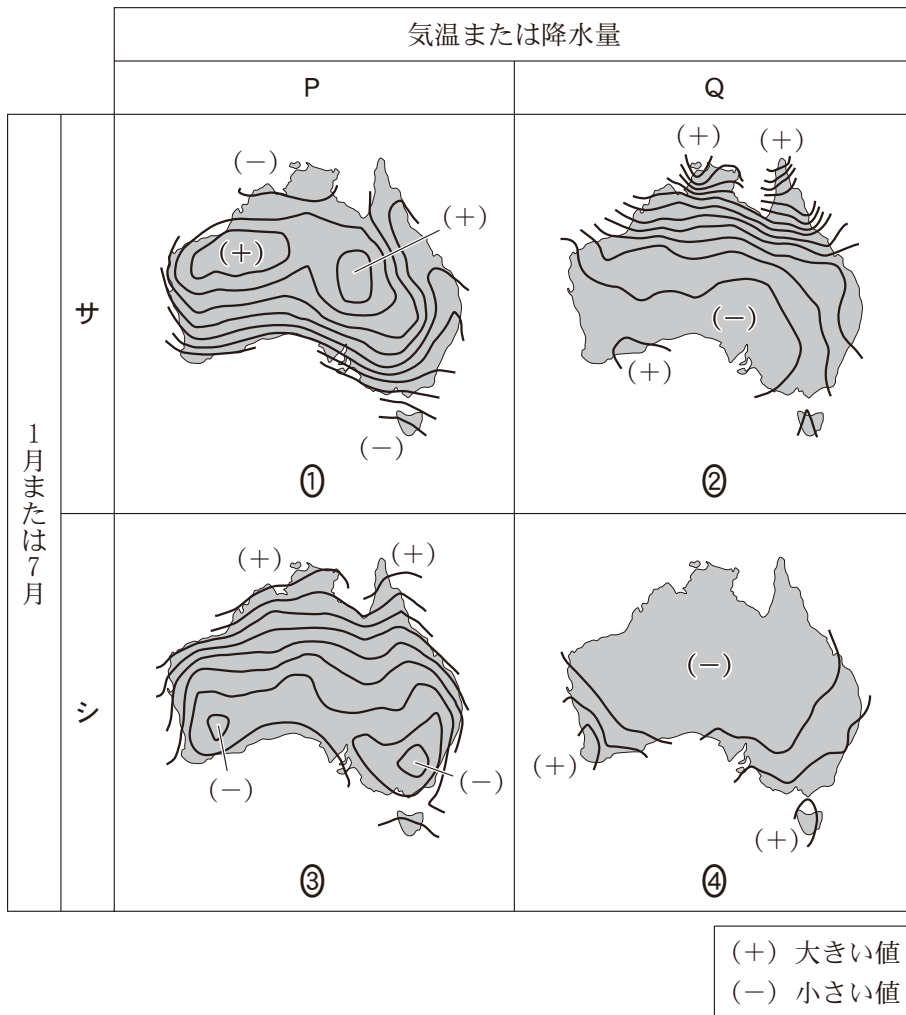
表 2

(単位：%)

	常緑広葉樹林 の割合	落葉広葉樹林 の割合	低木・草地 の割合	裸地(砂や岩 など)の割合
①	31.0	10.3	7.4	0.0
②	14.5	13.7	13.0	0.0
③	0.7	0.5	38.0	18.3
④	0.4	4.1	28.9	8.9

Geospatial Information Authority of Japan, Chiba University and collaborating organizations の資料などにより作成。

問 4 次の図4は、オーストラリアにおける1月の気温、1月の降水量、7月の気温、7月の降水量のいずれかを等値線で示したものである。図4中のPとQは気温と降水量のいずれか、サとシは1月と7月のいずれかである。1月の気温に該当するものを、図4中の①～④のうちから一つ選べ。 4



気温は月平均気温、降水量は月平均の日降水量。等値線の間隔は気温が2℃、降水量が1mm/日。NOAAの資料により作成。

図 4

## 地理 B

問 5 次の図 5 は、アフリカを 5 地域に区分\*して示したものである。また、表 3 は、この 5 地域について、1990 年から 2019 年の期間における地震、火山噴火、熱帯低気圧による自然災害の発生数\*\*を集計したものであり、タ～ツは、北部、西部、東部のいずれかである。地域とタ～ツとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 5

\*マダガスカル以外の島嶼国を除く。

\*\*死者 10 名以上、被災者 100 名以上、非常事態宣言の発令、国際援助の要請のいずれかの状況をもたらした自然災害の報告数の合計。



図 5

表 3

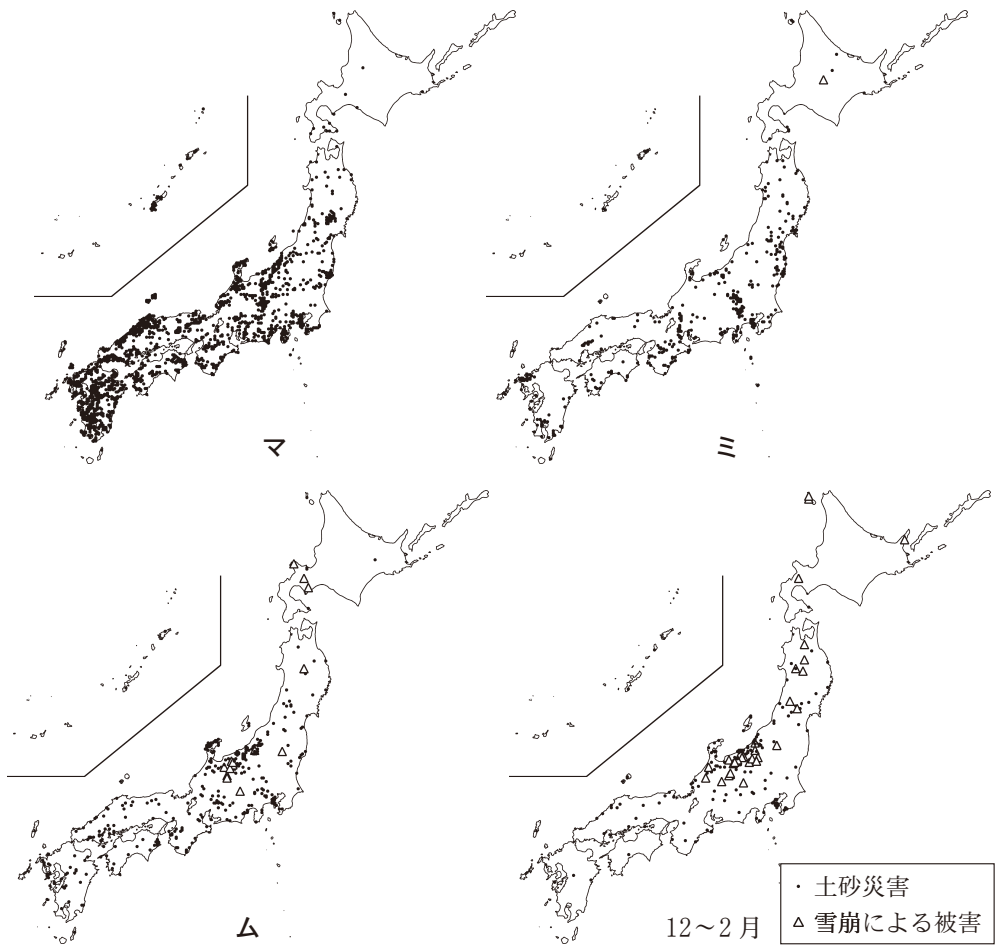
	地震	火山噴火	熱帯低気圧
タ	13	0	0
チ	12	2	53
中部	4	2	1
南部	3	0	1
ツ	0	0	1

EM-DAT により作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
北部	タ	タ	チ	チ	ツ	ツ
西部	チ	ツ	タ	ツ	タ	チ
東部	ツ	チ	ツ	タ	チ	タ

問 6 自然災害の種類は、地域や季節によって大きく異なる。次の図 6 は、日本における土砂災害\*と雪崩による被害の発生状況を時期ごとに示したものであり、マ～ムは、3～5月、6～8月、9～11月のいずれかである。時期とマ～ムとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 6

\*崖崩れ、地すべり、土石流。



該当する災害が1回以上発生した5kmメッシュの代表点の分布。  
 統計年次は2006～2009年。国土交通省の資料により作成。

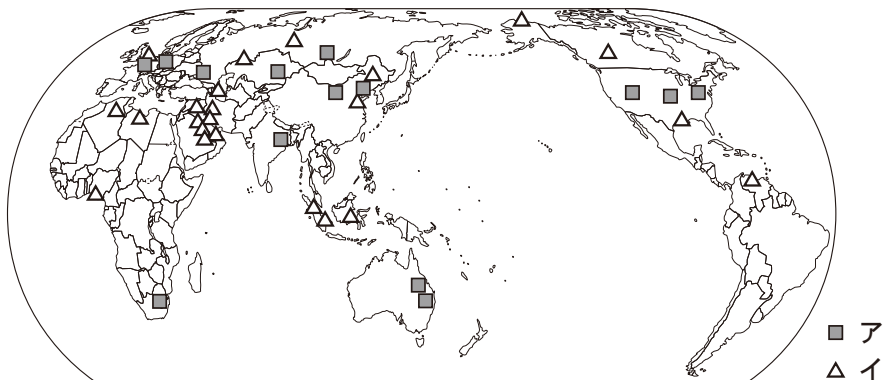
図 6

	①	②	③	④	⑤	⑥
3～5月	マ	マ	≡	≡	△	△
6～8月	≡	△	マ	△	マ	≡
9～11月	△	≡	△	マ	≡	マ

## 地理 B

**第 2 問** リナさんたちは、地理の授業で持続可能な資源利用について探究した。資源と産業に関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 リナさんたちは、まず資源の地域的な偏りを考えるために、主要な資源について調べた。次の図 1 中の凡例アとイは炭田と油田のいずれかであり、文 A と B は石炭と石油のいずれかを説明したものである。油田に該当する凡例と石油に該当する文との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 7



*Energy Statistics Yearbook* などにより作成。

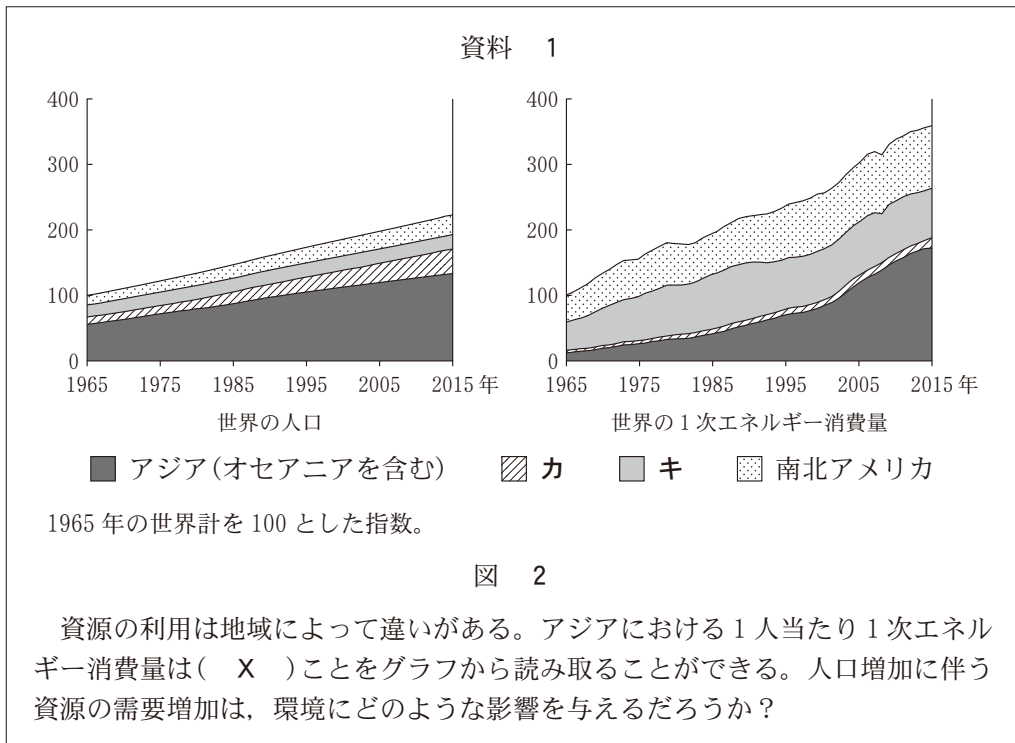
図 1

- A この資源は、生産量上位 10 か国の世界に占める割合が 9 割を超えており、世界最大の生産国と消費国が同一である。
- B この資源は、世界のエネルギー供給量の約 3 分の 1 を占めており、確認されている埋蔵量の約半分が特定の地域に偏っている。

	①	②	③	④
凡 例	ア	ア	イ	イ
文	A	B	A	B

問 2 次にリナさんたちは、先生から配られた資料1をもとに、世界の地域別の資源利用とその環境への影響について考えた。資料1中の図2は、世界の人口と世界の1次エネルギー消費量の推移を示したものであり、凡例カとキは、アフリカとヨーロッパのいずれかである。凡例キに該当する地域名と、資料1中の文章の空欄Xに当てはまる語句との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

8



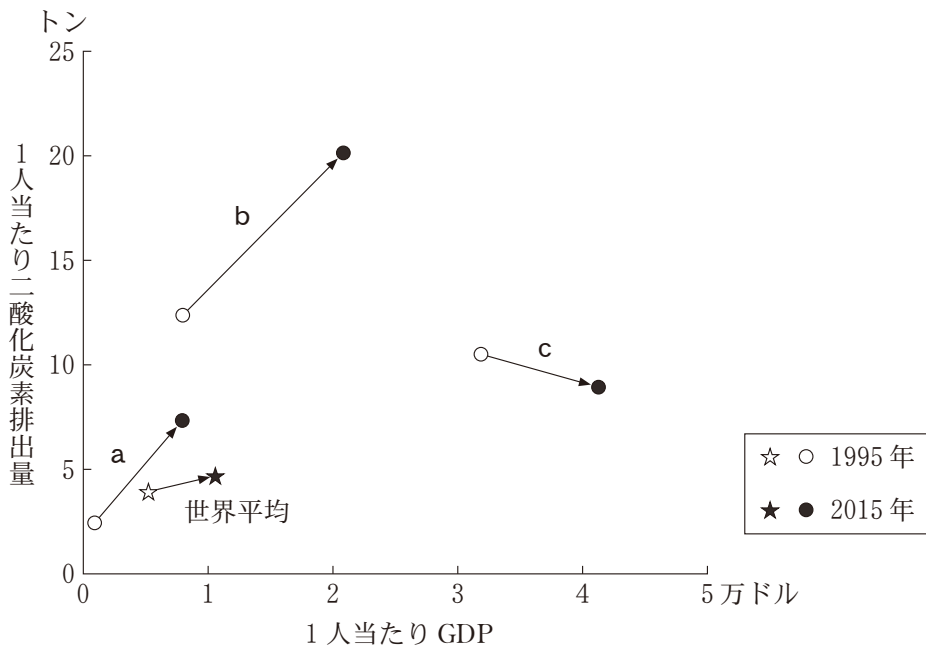
World Population Prospects などにより作成。

	①	②	③	④
キ	アフリカ	アフリカ	ヨーロッパ	ヨーロッパ
X	増えている	変化していない	増えている	変化していない



## 地理 B

問 3 次にリナさんたちは、1995年と2015年における各国のデータを調べて、経済発展が環境へ及ぼす影響について考察した。次の図3は、いくつかの国 a～c と世界平均について、1人当たり GDP と1人当たり二酸化炭素排出量の変化を示したものである。また、後の文サ～スは、図3中の a～c のいずれかにおける変化の背景をリナさんたちが整理したものである。a～c とサ～スとの組合せとして最も適当なものを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 9



World Development Indicators により作成。

図 3

## 地理B

- サ 産業構造の転換に伴い脱工業化が進み，再生可能エネルギーの普及も進んだ。
- シ 資源が豊富にあるため，国内の燃料消費のコストが低いことや，世界的な資源需要の高まりを背景に経済成長が進んだ。
- ス 農業や軽工業が中心であったが，その後は工業化が進み，重工業の比率が高まった。

	①	②	③	④	⑤	⑥
a	サ	サ	シ	シ	ス	ス
b	シ	ス	サ	ス	サ	シ
c	ス	シ	ス	サ	シ	サ

## 地理 B

問 4 リナさんたちは、経済発展が環境へ及ぼす影響についての考察をふまえ、化石燃料と再生可能エネルギーの発電量について調べた。次の表 1 は、いくつかの国における化石燃料と再生可能エネルギーについて、発電量と総発電量\*に占める割合を示したものである。表 1 をもとに環境への負荷について話し合った、先生とリナさんたちとの会話文中の下線部 e ~ g について、正誤の組合せとして正しいものを、後の①~⑧のうちから一つ選べ。 10

\*化石燃料と再生可能エネルギーのほか、原子力などを含む。

表 1

	化石燃料		再生可能エネルギー	
	発電量 (億 kWh)	総発電量に 占める割合 (%)	発電量 (億 kWh)	総発電量に 占める割合 (%)
中国	46,783	70.5	16,624	25.1
アメリカ合衆国	26,915	62.8	7,182	16.8
日本	8,199	76.7	1,682	15.7
ドイツ	3,461	52.9	2,163	33.1
カナダ	1,247	18.9	4,322	65.6
世界全体	165,880	64.5	62,695	24.4

再生可能エネルギーは、水力、太陽光、地熱、風力などの合計。中国の数値には台湾、ホンコン、マカオを含まない。

統計年次は 2017 年。『世界国勢図会』により作成。

先生 「環境への負荷を，化石燃料と再生可能エネルギーの二つから考えてみましょう。化石燃料による発電は環境への負荷が大きく，再生可能エネルギーによる発電は環境への負荷がきわめて小さいとした場合，表1から環境への負荷はどのように考えられますか」

リナ 「e 国別でみた環境への負荷は，中国が最も大きくなるのではないでしょうか」

ナオキ 「人口を考慮して環境への負荷を考えると，f 1人当たりでみた環境への負荷は，アメリカ合衆国が最も大きくなると思います」

カオル 「近年は再生可能エネルギーも普及しているので，国ごとで評価するときには，発電量の大小ではなく構成比で考えるのが重要だと思います。  
g 発電量の構成比でみると，ドイツが環境への負荷が最も小さい構成比であると考えます」

エミコ 「持続可能な資源利用に向けて環境への負荷を軽減する方法を考えていくことが重要ですね」

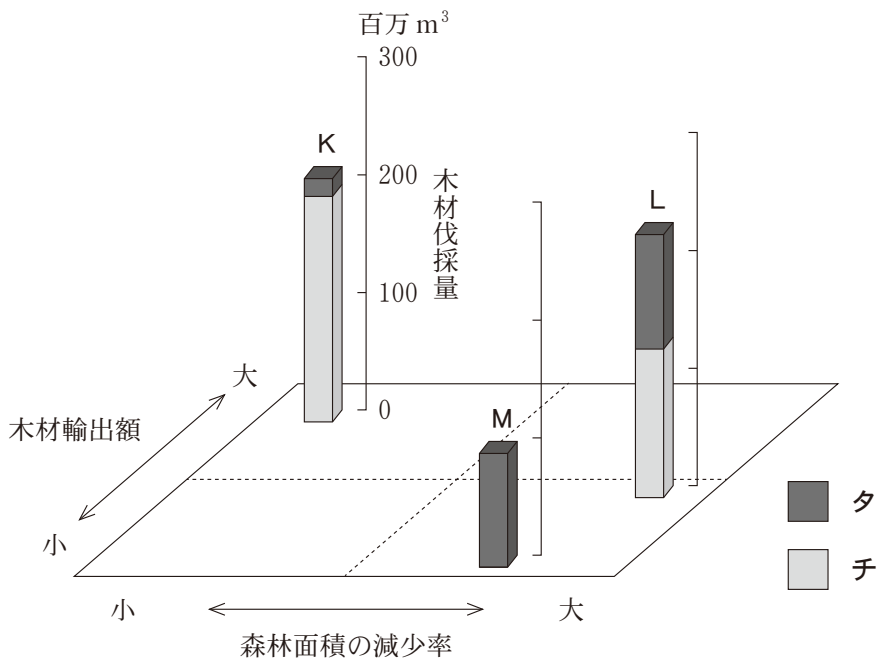
	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
e	正	正	正	正	誤	誤	誤	誤
f	正	正	誤	誤	正	正	誤	誤
g	正	誤	正	誤	正	誤	正	誤

## 地理 B

問 5 リナさんたちは、環境への負荷の軽減に寄与する森林資源に注目し、資源とその利用についてまとめた。次の図 4 は、いくつかの国における森林面積の減少率、木材輸出額、木材伐採量を示したものであり、K～Mはエチオピア、ブラジル、ロシアのいずれか、凡例タとチは薪炭材<sup>しんたんざい</sup>と用材\*のいずれかである。ブラジルと薪炭材との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。

11

\*製材・ベニヤ材やパルプ材などの産業用の木材。

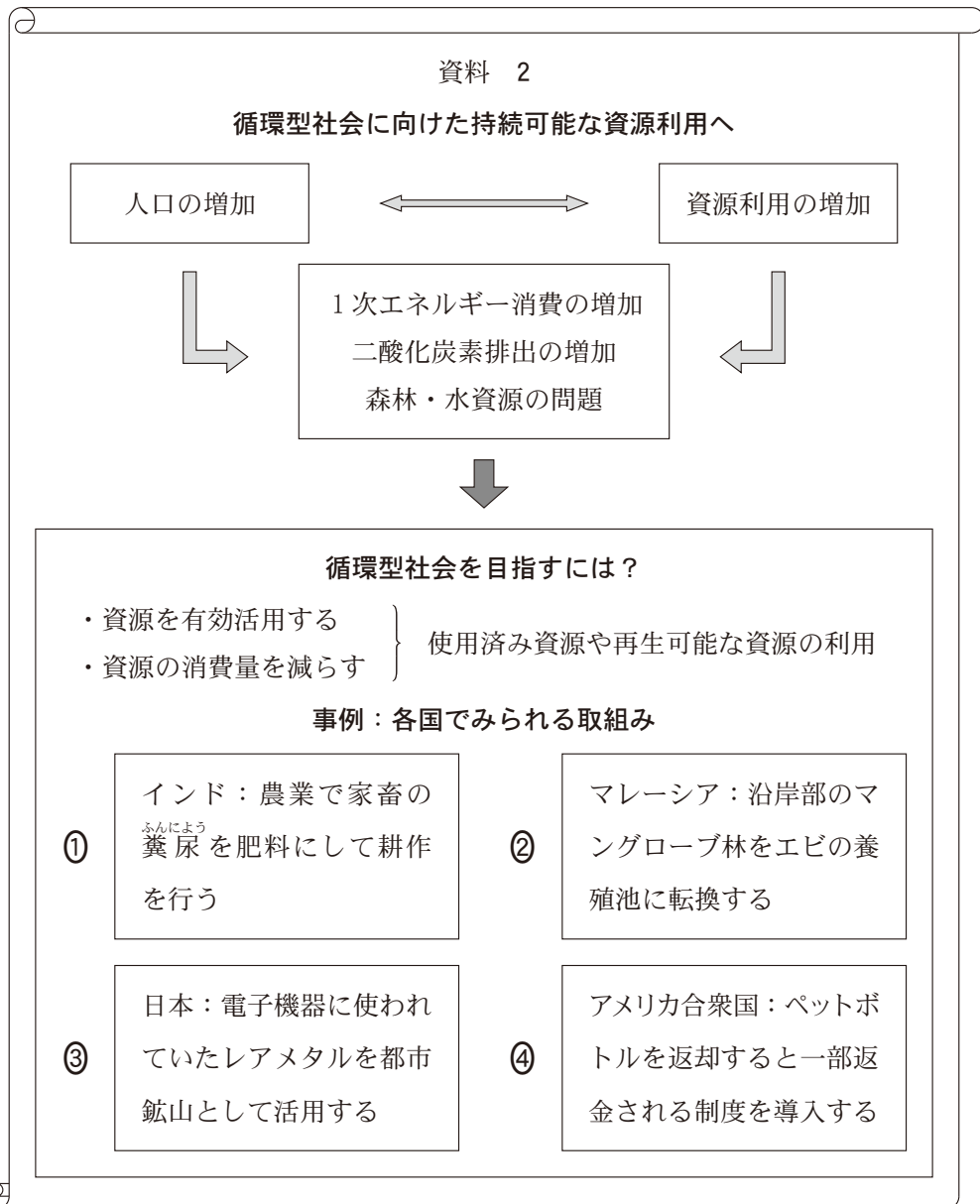


森林面積の減少率は1995年から2015年までの変化。森林面積の減少率と木材輸出額は相対的に示してある。統計年次は2017年。FAOSTATなどにより作成。

図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
ブラジル	K	K	L	L	M	M
薪炭材	タ	チ	タ	チ	タ	チ

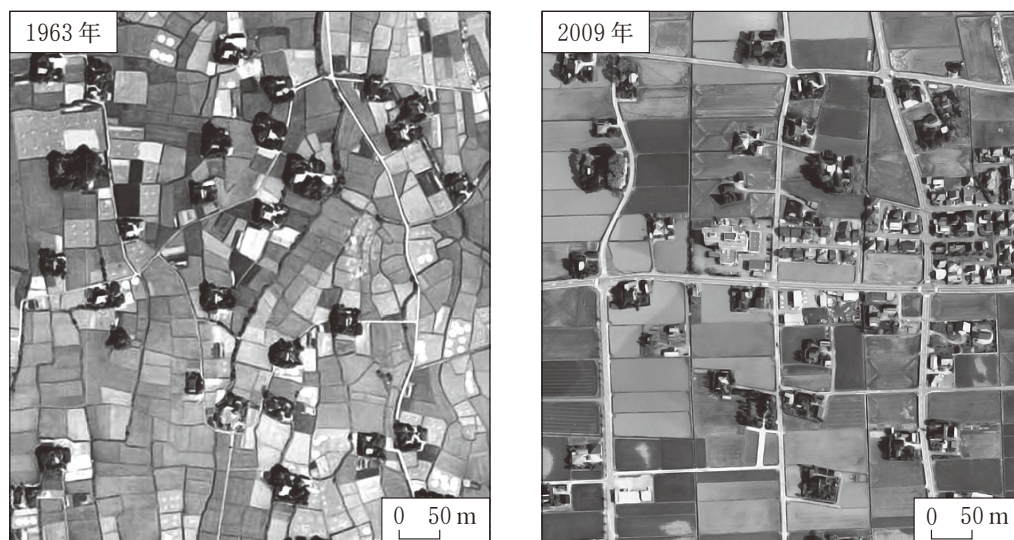
問 6 リナさんたちは、これまで調べたことをもとに、循環型社会に向けた持続可能な資源利用の課題と取組みについて資料2にまとめた。各国でみられる取組みのうち、循環型社会に寄与するものとして**適当でないもの**を、資料2中の①～④のうちから一つ選べ。 12



## 地理 B

### 第 3 問 村落・都市と人口に関する次の問い(問 1～6)に答えよ。(配点 20)

問 1 社会や経済の変化は、伝統的な村落にも影響を及ぼす。次の図 1 は、富山県の砺波平野となみのある地域における、1963 年と 2009 年の同範囲の空中写真である。図 1 に関連することからについて述べた文章中の下線部①～④のうちから、適当でないものを一つ選べ。 13

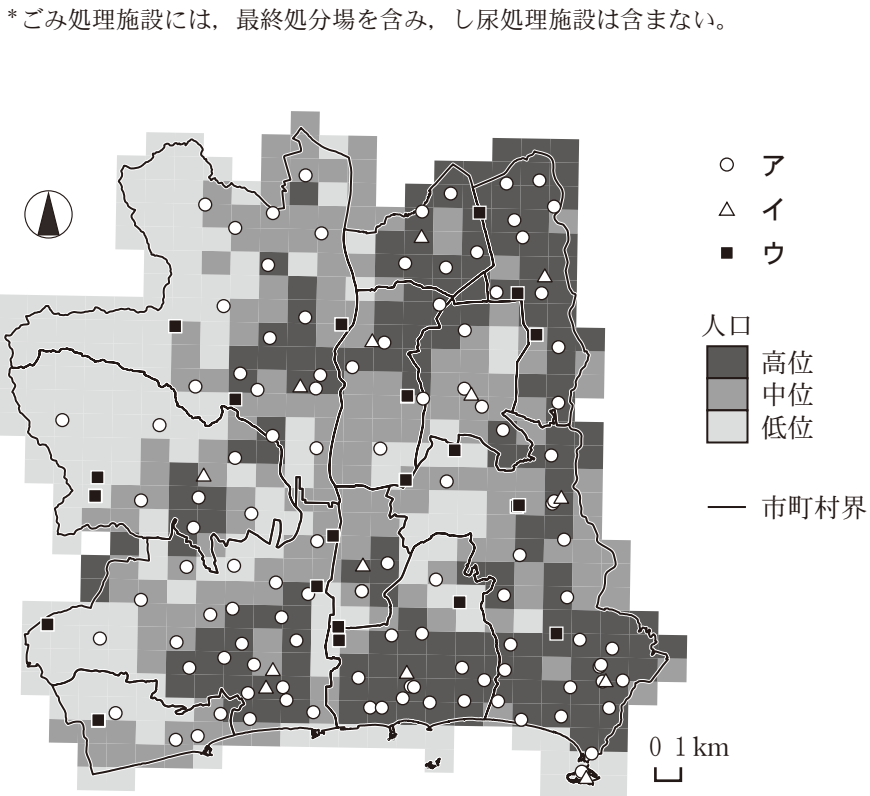


地理院地図により作成。

図 1

この村落では、水田や畑などの耕地の中に伝統的な家屋が数十 m から数百 m 間隔で並んでいる。1960 年代以降、①農業の機械化や効率化のため、耕地は、一つの区画が広くなるように長形状に区切り直された。また、②モータリゼーションに対応するため、かつての耕地を区切るあぜ道のほとんどが、舗装されて幅の広い道路に変わった。この地域では、1963 年から 2009 年の間に③人口増加や核家族化の進展に伴い、耕地の一部は住宅地となった。④1 戸当たりの敷地面積は、近年建てられた住宅よりも、伝統的な家屋の方が広い傾向がみられる。

問 2 現代の都市では、生活を支える様々な公共サービスが提供されている。次の図2は、日本のある地域における人口分布といくつかの公共施設の立地を示したものであり、凡例ア～ウは、交番・駐在所、ごみ処理施設\*、500席以上の市民ホールいずれかである。公共施設名とア～ウとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 14



国土数値情報などにより作成。

図 2

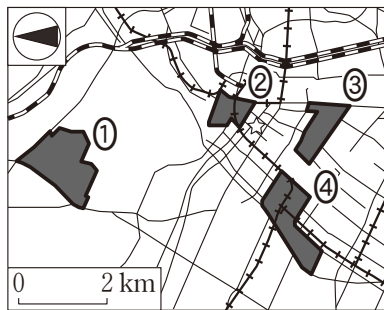
	①	②	③	④	⑤	⑥
交番・駐在所	ア	ア	イ	イ	ウ	ウ
ごみ処理施設	イ	ウ	ア	ウ	ア	イ
市民ホール	ウ	イ	ウ	ア	イ	ア



## 地理 B

問 3 先進国の大都市内部の衰退した地区において、専門的職業従事者などの経済的に豊かな人々の流入と地区の再生が進む現象は、ジェントリフィケーションという概念で説明される。次の図 3 は、ある先進国の大都市の中心業務地区付近の概要といくつかの指標を示したものである。ジェントリフィケーションがみられる地区として最も適当なものを、図 3 中の①～④のうちから一つ選べ。

15



— 主要道路      +--+ 地下鉄  
 —+— 鉄道      ☆ 市役所

中心業務地区付近の概要



□ 20%未満      □ 20～40%  
 ■ 40%以上

2000年の居住者の貧困率



□ 減少      □ 0～20%増加  
 ■ 20%以上増加

大学を卒業している居住者の増減  
 (2000～2015年)



□ 減少      □ 0～40%増加  
 ■ 40%以上増加      ⊞ データなし

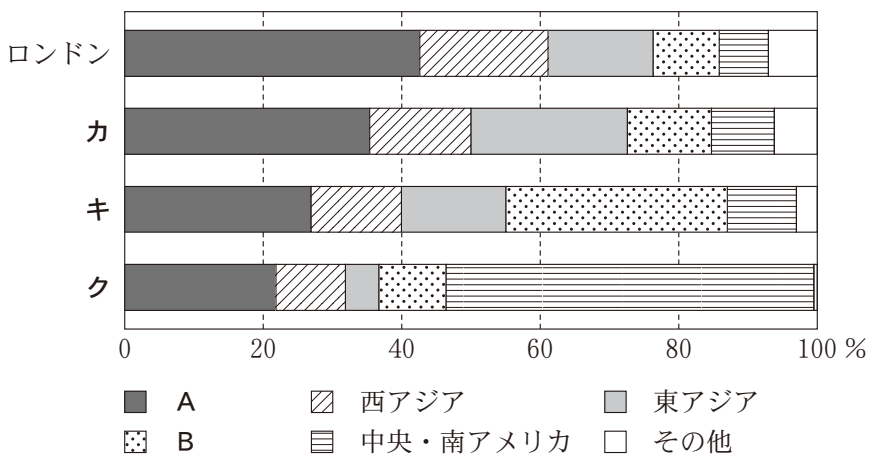
賃料の増減  
 (2000～2015年)

UCLA Lewis center の資料などにより作成。

図 3

問 4 次の図4は、ヨーロッパの主要な都市の空港\*における、ヨーロッパ以外から到着する航空便の旅客数の内訳を、出発地域別に示したものである。図4中のカ～クはパリ、フランクフルト、マドリードのいずれか、凡例AとBはアメリカと北アメリカ\*\*のいずれかである。パリと北アメリカとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 16

\*一つの都市に複数の空港が存在する場合は合計値。  
 \*\*北アメリカにはメキシコを含まない。



統計年次は2018年。  
 Eurostatにより作成。

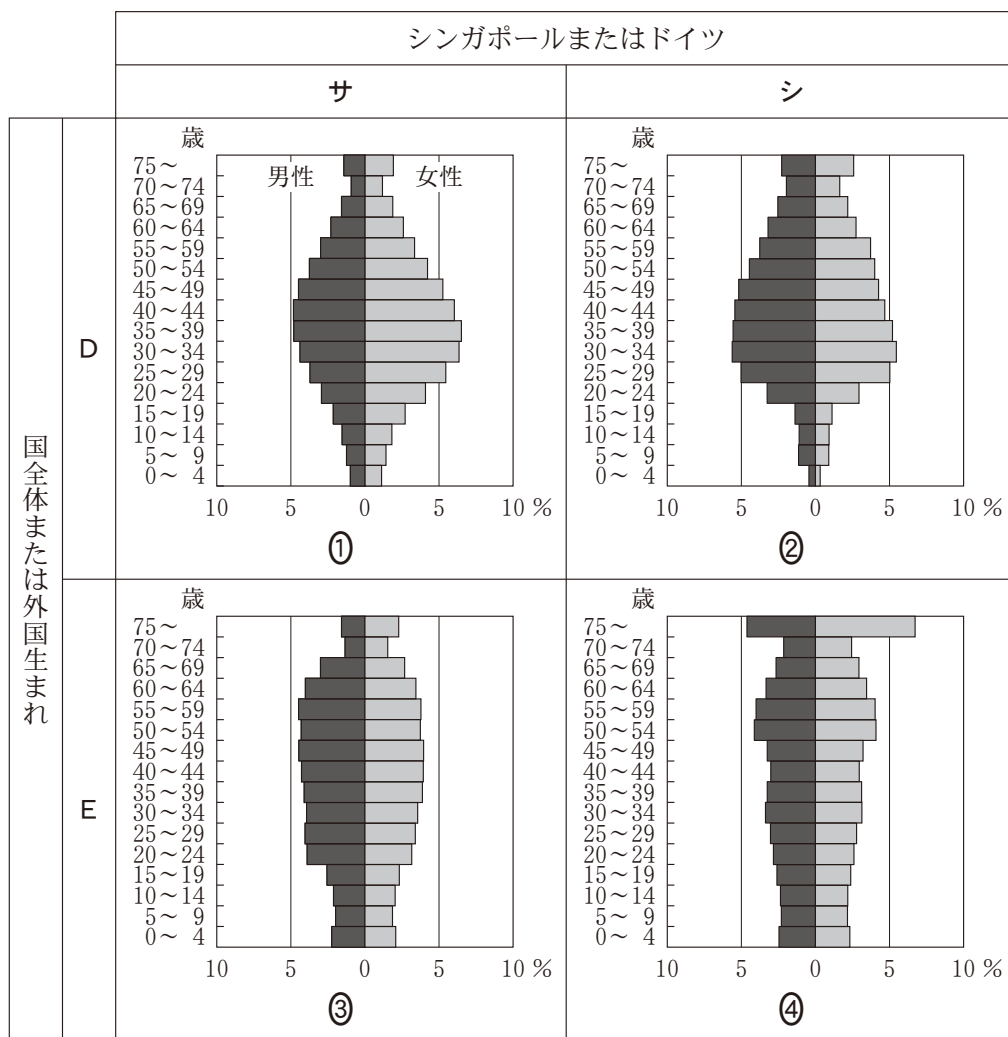
図 4

	①	②	③	④	⑤	⑥
パ リ	カ	カ	キ	キ	ク	ク
北アメリカ	A	B	A	B	A	B

## 地理 B

問 5 次の図 5 は、人口ピラミッドを示したものであり、サとシはシンガポールとドイツのいずれか、DとEは国全体と外国生まれのいずれかである。シンガポールの外国生まれに該当するものを、図 5 中の①～④のうちから一つ選べ。

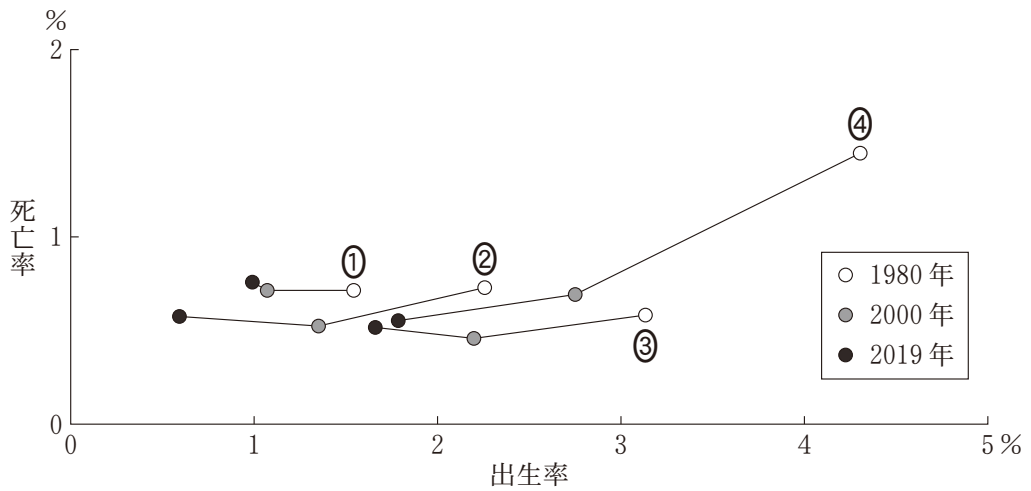
17



統計年次は 2019 年。International migrant stock 2019 により作成。

図 5

問 6 人口増減は、国や地域により状況が異なる。次の図6は、いくつかの国における1980年、2000年、2019年の出生率と死亡率を示したものであり、①～④は、カナダ、韓国、バングラデシュ、マレーシアのいずれかである。マレーシアに該当するものを、図6中の①～④のうちから一つ選べ。 18



World Development Indicators により作成。

図 6

## 地理 B

### 第 4 問 ラテンアメリカに関する次の問い(A・B)に答えよ。(配点 20)

A ラテンアメリカの自然と社会に関する次の問い(問 1～4)に答えよ。

問 1 次の図 1 は、ラテンアメリカの二つの河川の流域と主な河道を示したものであり、地点 D と E は、流量観測地点を示したものである。また、図 2 中のアとイは、図 1 中の D と E のいずれかの地点における月平均流量の年変化\*を示したものである。図 1 と図 2 を説明した文章中の空欄 a と b に当てはまる記号と語句との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 19

\*各月の平均流量の合計を 100 % とした。

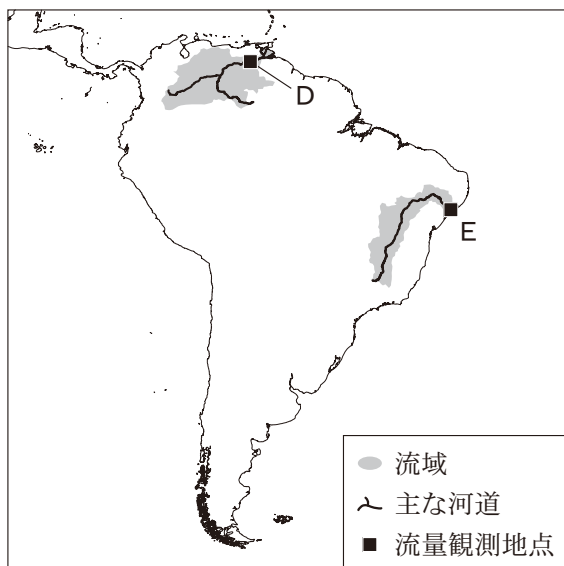
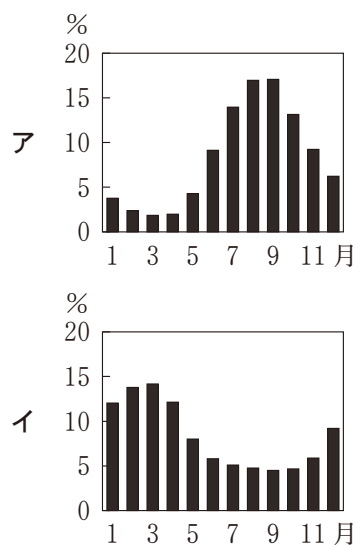


図 1



Global Runoff Data Centre の資料などにより作成。

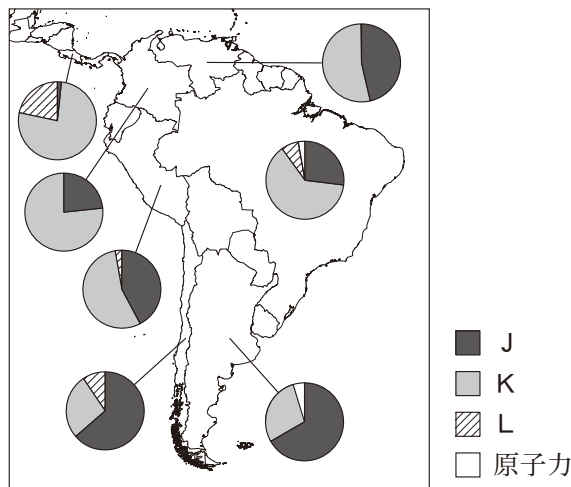
図 2

河川の流量とその季節変化は、流域の気候の影響を受けている。地点 D の月平均流量の年変化を示す図は( a )となる。地点 D と E を流れる河川の年平均流量には 10 倍以上の差があり、地点 E を流れる河川の年平均流量は、地点 D を流れる河川よりも( b )。

	①	②	③	④
a	ア	ア	イ	イ
b	多い	少ない	多い	少ない

問 2 各国の電力の供給源は、経済力や得られる資源などにより異なる。次の図 3 は、ラテンアメリカのいくつかの国におけるエネルギー源別の発電量の割合を示したものであり、凡例 J～L は、火力、再生可能エネルギー\*、水力のいずれかである。エネルギー源と J～L との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 20

\*太陽光、地熱、風力などを含み、水力を除く。



統計年次は 2017 年。  
Energy Statistics Yearbook などにより作成。

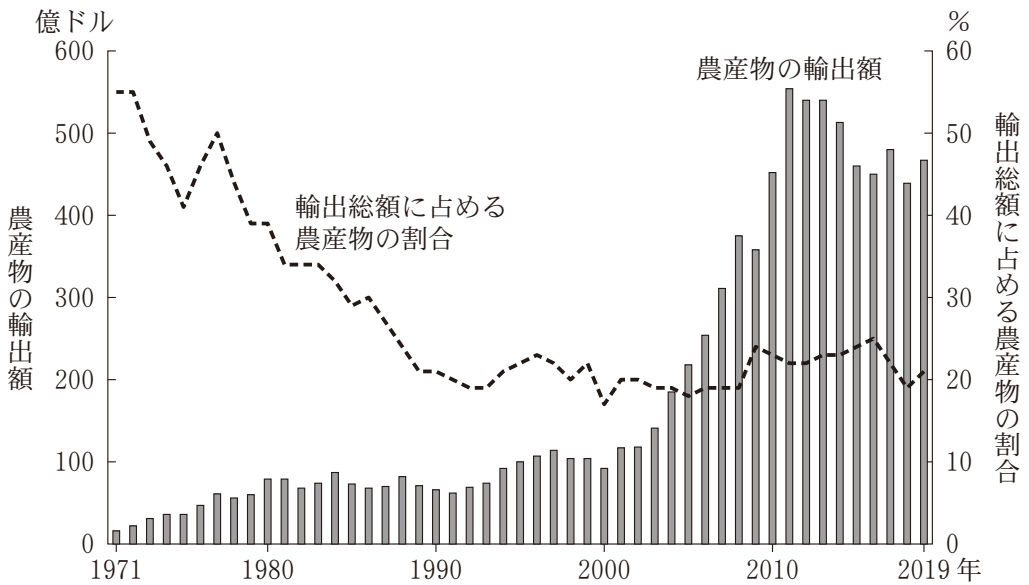
図 3

	①	②	③	④	⑤	⑥
火 力	J	J	K	K	L	L
再生可能エネルギー	K	L	J	L	J	K
水 力	L	K	L	J	K	J

## 地理 B

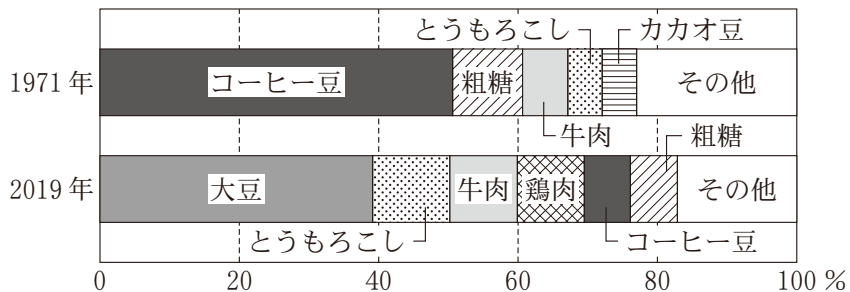
問 3 次の図 4 は、ブラジルの農産物の輸出額と、輸出総額に占める農産物の割合の推移を示したものであり、後の図 5 は、1971 年と 2019 年におけるブラジルの農産物の輸出品目の内訳を示したものである。図 4 と図 5 から読み取れることがらとその背景について述べた文章中の下線部①～④のうちから、**適当でないもの**を一つ選べ。

21



UN Comtrade により作成。

図 4

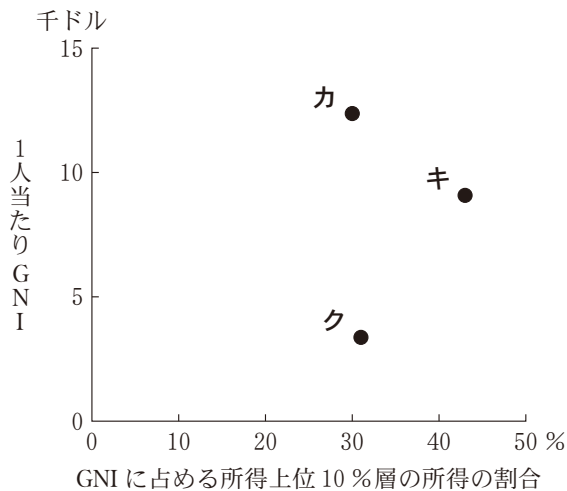


FAOSTAT により作成。

図 5

ブラジルでは、農産物が重要な外貨獲得源であり、1970年代初頭の農産物の輸出は、①大土地所有制を背景とした商品作物の生産に支えられていた。1990年代にかけては、②工業化が進展して輸出に占める農産物の割合は低下した。2000年代には、③農業が輸出指向型産業の性格を強めていった。1971年と比較すると、2019年には穀物や肉類の輸出額が増加するとともに、④コーヒー豆の輸出額は減少し、モノカルチャー経済からの脱却が進んでいる。

問 4 次の図 6 は、ラテンアメリカのいくつかの国における、GNI(国民総所得)に占める所得上位 10% 層の所得の割合と、1人当たり GNI を示したものであり、カ～クは、アルゼンチン、ブラジル、ボリビアのいずれかである。国名とカ～クとの正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 22



統計年次は 2018 年。World Bank の資料により作成。

図 6

	①	②	③	④	⑤	⑥
アルゼンチン	カ	カ	キ	キ	ク	ク
ブラジル	キ	ク	カ	ク	カ	キ
ボリビア	ク	キ	ク	カ	キ	カ

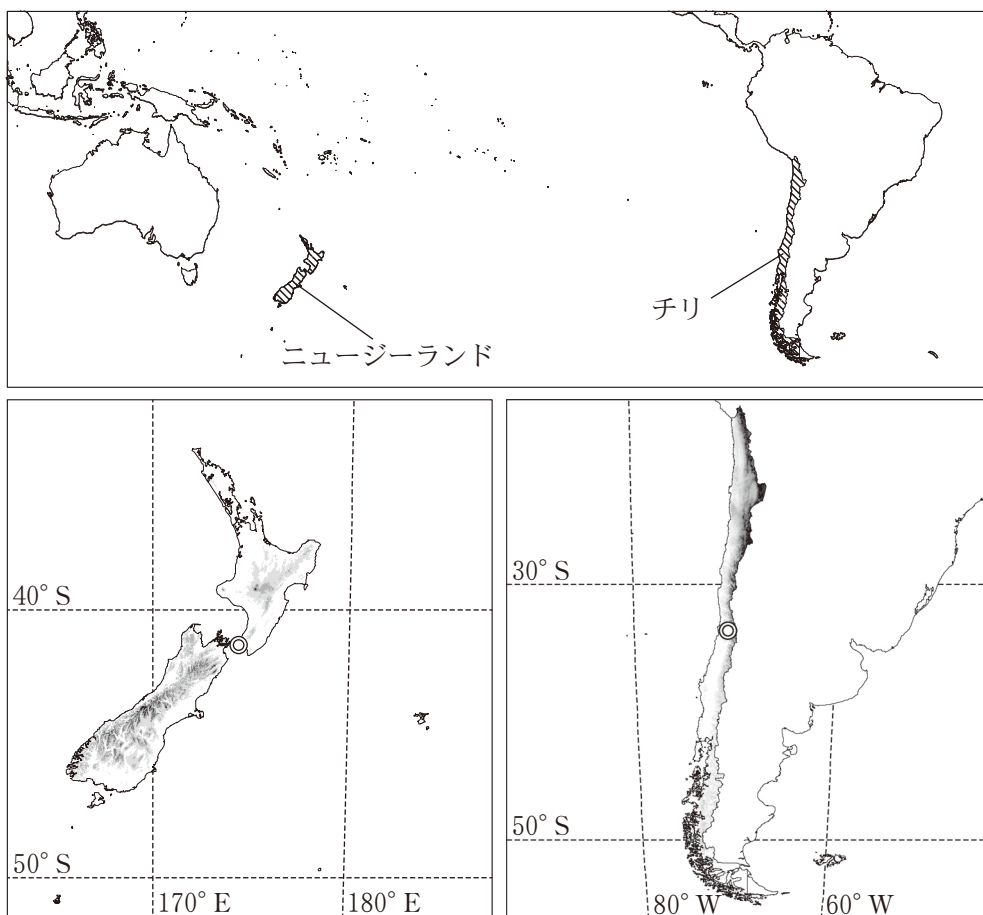


## 地理 B

B 南太平洋の東部と西部に位置するチリとニュージーランドに関する次の問い  
(問5～6)に答えよ。

問5 次の図7に示したチリとニュージーランドには、自然条件において共通する  
点と異なる点がある。後の①～④の文は、両国の自然条件の特徴を述べたもの  
である。これらのうち、チリのみ当てはまるものと、ニュージーランドのみ  
に当てはまるものを、①～④のうちから一つずつ選べ。

チリ  ・ニュージーランド



色の濃い部分ほど標高の高い地域を示している。◎は首都の位置を示している。

図 7

- ① 寒流の影響で、1年を通して降雨のほとんどない地域がある。
- ② 首都は、偏西風の影響を受けて年中湿潤な地域に位置している。
- ③ フィヨルドなどの氷河地形や、山岳氷河がみられる地域がある。
- ④ 変動帯に位置しているため、国内に火山があり、地震が頻発する。

問 6 チリとニュージーランドでは、貿易を通じた他地域との結びつきが変化している。次の表1は、チリとニュージーランドの輸出総額に占める鉱産物の割合と、1985年と2018年における輸出総額の地域別割合を示したものである。表1中のサとシはチリとニュージーランドのいずれか、XとYは北アメリカ\*と西ヨーロッパ\*\*のいずれかである。チリと西ヨーロッパとの正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 25

\*メキシコを含まない。

\*\*アイルランド、イギリス、イタリア、オーストリア、オランダ、スイス、スペイン、ドイツ(1985年は西ドイツと東ドイツとする)、フランス、ベルギー、ポルトガル、ルクセンブルク。

表 1

(単位：%)

	鉱産物の割合 (2018年)	輸出総額の地域別割合					
		1985年			2018年		
		東アジア	X	Y	東アジア	X	Y
サ	30.4	17.3	23.8	35.5	50.5	15.2	10.8
シ	2.2	21.3	16.2	19.5	37.4	10.9	8.1

東アジアの数値は、日本、韓国、台湾、中国、ホンコン、マカオの合計。  
UN Comtrade により作成。

	①	②	③	④
チリ	サ	サ	シ	シ
西ヨーロッパ	X	Y	X	Y

## 地理B

第5問 東北地方に住む高校生のリサさんとユイさんは、北海道とまこまい苫小牧市とその周辺の地域調査を行った。この地域調査に関する次の問い(問1～6)に答えよ。

(配点 20)

問1 リサさんたちは、調査に出発する前に次の図1を見て、苫小牧市周辺の景観の特徴について考えた。図1から考えられることがらについて述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 26



地理院地図により作成。

図 1

- ① 南側からフェリーで苫小牧港に近づくと、進行方向に向かって右側に市街地と樽前山が見えるだろう。
- ② 列車で勇払駅から東に向かうと、左側に弁天沼やウトナイ湖の水面が見えるだろう。
- ③ 沼ノ端駅のそばを通る国道を北西方向に歩いていくと、その先に湿地の見える場所があるだろう。
- ④ バスで苫小牧中央インターチェンジから高速道路を西に向かうと、右側には市街地が、左側には樽前山が見えるだろう。

問 2 先生から借りた過去の5万分の1地形図(原寸, 一部改変)を見たりサさんたちは、次の図2のように、苫小牧市周辺で多くの川が河口付近で屈曲し、流路が頻繁に変化していることに気づいた。川の流路が変化している理由を知るために、りサさんたちは、苫小牧市内の博物館を訪問して学芸員に質問した。りサさんたちと学芸員との会話文中の空欄ア～ウに当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後の①～⑧のうちから一つ選べ。 27

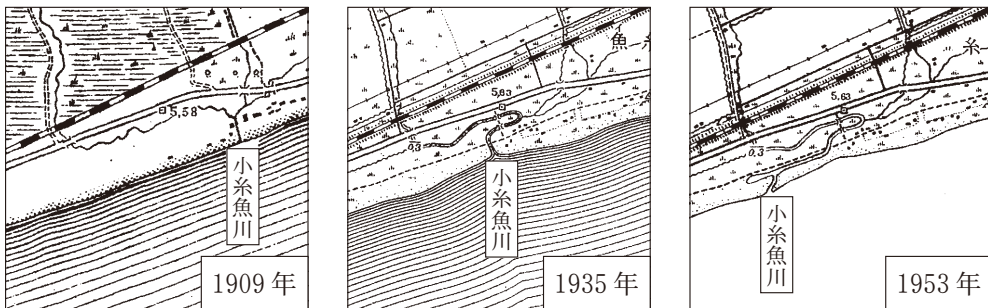


図 2

りサ 「なぜ、この地域では図2のように多くの川が河口付近で曲がり、海岸線と平行に流れるのですか」

学芸員 「苫小牧市の海岸は、直線的に砂浜が続くのが特徴です。これは、(ア)によって運ばれる砂の堆積が最も大きな理由です。他方で、この地域では(イ)になると、河川の流量が大幅に減少するため、河口付近が砂でふさがれて、川の流路がたびたび変わるのです」

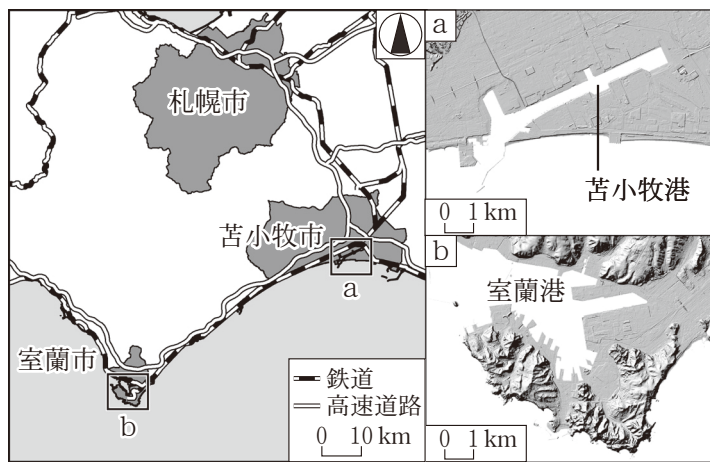
ユイ 「(イ)には、河川よりも海の運搬・堆積作用の方が(ウ)なるということですね」

	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧
ア	沿岸流	沿岸流	沿岸流	沿岸流	潮 汐	潮 汐	潮 汐	潮 汐
イ	夏 季	夏 季	冬 季	冬 季	夏 季	夏 季	冬 季	冬 季
ウ	大き	小さ	大き	小さ	大き	小さ	大き	小さ

## 地理 B

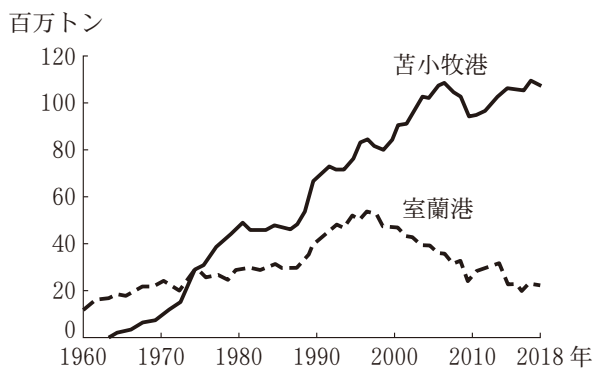
問 3 リサさんたちは、苫小牧港の整備と苫小牧市の発展について、市役所の職員から話を聞いた。次の図 3 は、苫小牧市周辺の概要と、陰影をつけて地形の起伏を表現した苫小牧港と室蘭港の地図である。また、後の図 4 は苫小牧港と室蘭港の海上貨物取扱量の推移を、図 5 は 2018 年における両港の海上貨物取扱量の内訳を示したものである。これらの図をもとにした、リサさんたちと職員との会話文中の下線部①～④のうちから、誤りを含むものを一つ選べ。

28



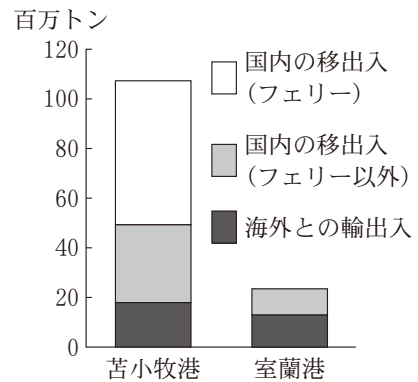
地理院地図などにより作成。

図 3



苫小牧港統計年報などにより作成。

図 4



苫小牧港統計年報などにより作成。

図 5

- 職員 「室蘭港は、1960年代まで工業製品や北海道の内陸部で産出されたエネルギー資源を本州に積み出す、北海道でも有数の港湾でした」
- リサ 「①室蘭港が、内湾に面していて波が穏やかな天然の良港だからですね」
- 職員 「一方で、現在の苫小牧港は、1963年に大規模な掘り込み式の港湾として整備されてから、急速に海上貨物取扱量を増やしていきます」
- ユイ 「苫小牧港が発展したのは、②人口が多い札幌市やその周辺の地域に近いことと、北海道の中央部からの輸送距離が短縮できたためでしょうね」
- 職員 「かつての苫小牧市では、戦前に立地した一部の大工場がみられる程度でした。苫小牧港が整備されて以降、港湾に関連する産業も成長しました。人口も増え、苫小牧市は北海道内で屈指の工業都市となりました」
- リサ 「苫小牧市で港湾関連の産業が発達したのは、③港の近くが平坦で、巨大な倉庫や工場を造りやすかったことも関係していますね」
- 職員 「2018年時点で苫小牧港は、北海道で最も海上貨物取扱量が多い港湾です。苫小牧港は、フェリーが海上貨物取扱量の半分以上を占めているのが特徴です」
- ユイ 「フェリーを除いた海上貨物取扱量をみると、④苫小牧港は、海外との貿易の占める割合が室蘭港よりも高いですね。苫小牧港は、北海道の重要な海の玄関口となっているのですね」

## 地理 B

問 4 市役所の職員の話に興味をもったリサさんたちは、苫小牧港整備以降の工業の変化を統計で確認した。次の表 1 は、製造業のいくつかの業種の変化について、北海道の製造品出荷額に占める苫小牧市の割合と、苫小牧市の製造品出荷額に占める各業種の割合を示したものである。また、表 1 中の A～C は、食料品、石油製品・石炭製品、パルプ・紙・紙加工品のいずれかである。業種と A～C との正しい組合せを、後の①～⑥のうちから一つ選べ。 29

表 1

(単位：％)

	北海道の製造品出荷額に占める 苫小牧市の割合		苫小牧市の製造品出荷額に占める 各業種の割合	
	1971 年	2018 年	1971 年	2018 年
A	28.6	31.6	54.1	9.6
B	3.7	69.5	0.7	56.1
C	0.9	0.4	5.8	0.7

『工業統計表』などにより作成。

	①	②	③	④	⑤	⑥
食料品	A	A	B	B	C	C
石油製品・石炭製品	B	C	A	C	A	B
パルプ・紙・紙加工品	C	B	C	A	B	A

問 5 リサさんたちは、苫小牧市内のいくつかの住宅地区を歩き、建物や街並みの特徴をメモした資料 1 と、1995 年と 2015 年の年齢別人口構成を示す図 6 を作成した。図 6 中のカとキは、資料 1 中の地区 d と e のいずれかにおける人口構成の変化を示したものであり、X 年と Y 年は、1995 年と 2015 年のいずれかである。地区 d に該当する図と 1995 年との正しい組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 30

資料 1

地区 d 市中心部の社員用住宅地区

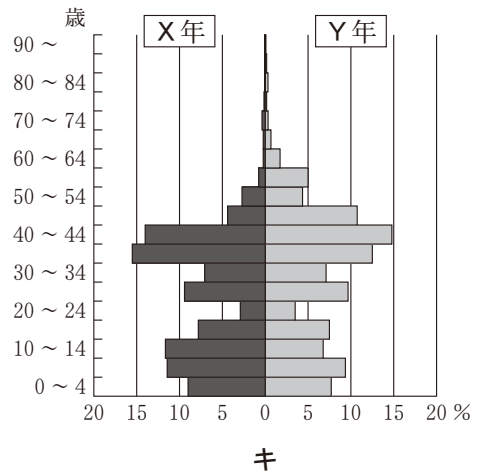
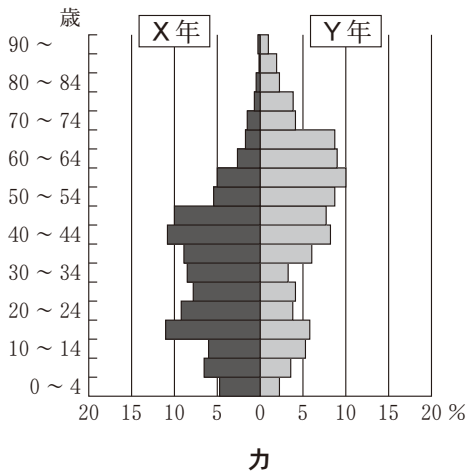


工場従業員とその家族向けの住宅団地。  
空き部屋もいくつかある。冬に洗濯物を乾かせるよう、ベランダに覆いがつけられている。

地区 e 郊外の戸建て住宅地区



30年ほど前に造成された地区。  
車が2台以上ある家が目立つ。北向きの玄関には、屋根や覆いのある家が多い。



国勢調査により作成。

図 6

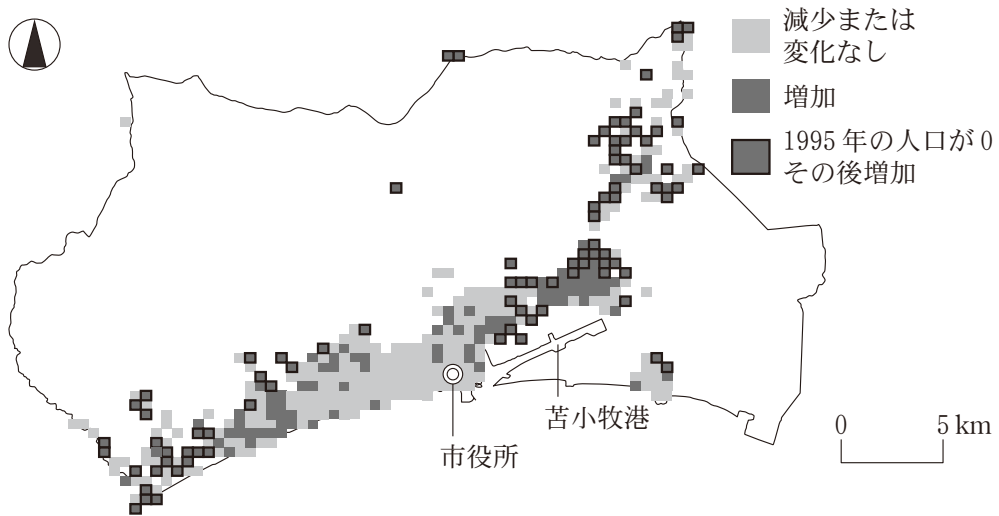
	①	②	③	④
地区 d	力	力	キ	キ
1995年	X年	Y年	X年	Y年



## 地理 B

問 6 現地での調査を終えたりささんたちは、学校に戻り調査結果と地域の問題について次の図 7 を見ながら先生と話し合った。図 7 は、1995 年から 2015 年にかけての人口増減を示したものである。また、会話文中の空欄 E には語句サとシのいずれか、空欄 F には文タとチのいずれかが当てはまる。空欄 E と F に当てはまる語句と文との組合せとして最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

31



国勢調査などにより作成。

図 7

り さ 「苦小牧市では、私たちの住む市と似た問題もみられました。空き店舗や空き地が増えたり、街に来る人が減少したりするなどの問題が、( E ) 側の市街地ではみられます」

先 生 「同じような問題は、全国の地方都市でも共通してみられます。では、この問題の解決に向けた取組みを、構想してみてください」

ユ イ 「この問題の解決には、( F )が考えられるのではないのでしょうか。この取組みは、温室効果ガスの削減にもつなげられると思います」

先 生 「いいですね。今回の調査と考察を私たちの住む市でも活用してください」

( E )に当てはまる語句

- サ 市役所の西
- シ 苫小牧港の北

( F )に当てはまる文

- タ 郊外で大型の駐車場を備えたショッピングセンターの開発や、大規模なマンションの建設を進めること
- チ 利用者の予約に応じて運行するバスの導入や、公共交通機関の定時運行によって利便性を高めること

	①	②	③	④
E	サ	サ	シ	シ
F	タ	チ	タ	チ